

あつまる つながる まとまる 大いなる田園の町 あつま



広報 あつま





北海道胆振東部地震から3年

輝きを紡ぐ

夜空に広がる無数の星。多くの町民が自慢する風景が、そこにありました。静寂の中から聞こえてくるのは、稲穂をくすぐる風の音と厚真川のせせらぎ。静かに時は流れていました。

厚真町は、応急期を経て、復興に取り組んでいます。新たな歴史を刻む道のりは、始まったばかり。「輝く町」を創出するために、町民一丸となって前を見据えています。夜空に広がる星のように、厚真町は光を放ち続けます。北海道胆振東部地震から3年。町内をめぐるしました。

伝える

9月5日、北海道胆振東部地震の慰霊碑の除幕式が執り行われました。

つたえり公園(京町)内に建立された慰霊碑は、犠牲となった37人の方々が、この地で私たちと同じ時を生きた証として建立されました。御霊が永久に安らかならんことを祈ると共に、郷土の未来を守っていただくことを願っています。

慰霊碑の外輪には、北海道胆振東部地震が発生の時刻3時7分が刻まれ、中心の黒御影石の円盤は、反射によってお参りされた方の思いを投影します。町と包括連携協定を締結した札幌市立大学デザイン研究科の皆さんの協力で、デザインされました。輝くあつまを次世代につなぐ歩みを伝えています。



ひとのうごき

令和3年8月31日現在 ()内は前月比

人 □ 4,412人 (-4)
男 2,204人 女 2,208人

世帯数 2,122世帯 (-1)

8月1日~31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

facebook <フェイスブック>
お知らせやイベント情報を
発信しています。

<https://www.facebook.com/atsumatownhokkaido>



LINE LINE <ライン>

災害時の緊急情報、支援情報、町政情報などを
配信しています。

※LINEアプリから友だち追加してください

・IDで追加 @atsuma

・QRコードで追加



「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。
www.hokkaido-books.jp

北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「ホッカイドウ イーブックス」

Hokkaido books

ホッカイドウ イーブックス実行委員会(株式会社 須田製版 内) Tel.011-621-1000(代表)



広報あつま

2021年 9月号
令和3年

も く じ
CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3-7 北海道胆振東部地震から3年
- 8-9 お知らせ
 - 10 新型コロナウイルス感染症に関する支援情報
気象台ノート
 - 11 防災のページ
- 12-13 国民年金
- 14-15 まちの話題
 - 16 厚真町庁舎周辺等整備基本構想・基本計画
アンケート結果(抜粋版)
 - 17 厚真町地域おこし協力隊/将来の夢&目標
 - 18 厚高インフォメーション/短歌
令和3年度花いっぱいコンクール結果発表
 - 19 健康情報
- 20-21 保健の掲示板/まちのアイドル
- 22 子育て支援センター/こぶしの湯あつま
- 23 情報ひろば
- 24 ATSUMA LOVERS

※広報担当が取材した記事は、写真撮影時のみマスクを外しています。

今月の表紙
COVER



富里浄水場直下の畑で8月11日、数千株のヒマワリが満開になりました。地力向上のため被災者が植えた緑肥用ヒマワリです。圧巻な景色は、今年が最初で最後。来年は畑に戻ります。



色づき始めた主力の水稲

稲穂が、首をたれ下げました。間もなく、収穫期を迎えます。カボチャ、ホウレン草、イチゴ、花き…。化粧箱に書かれた「あつま」の文字が、市場で踊ります。

営農用水の復旧や田畑などに堆積した土砂もほぼ撤去され、農地には緑が戻りました。喪失感や挫折感との葛藤を克服した生産者は、震災後も途切れさせることなく、消費者に熱意を届けています。



青々とした葉を広げるホウレンソウ



赤く染まる豊潤なイチゴ



ハスカップ農家
土居 元さん(朝日)

土居ハスカップ農園の代表で、常に笑顔で来訪者と接します。ハスカップを通じた人とのつながりを深め、果実の魅力と共に人が集まるマチにしたいと、将来を見つめています。

祖父が勇払原野から移植したのが農園の始まり。ハスカップの木は、約2千本あり、30年以上の成木が中心です。北海道胆振東部地震で裏山が崩れて成木の半分が土砂に埋まり、地割れなどで果実の成長が鈍りました。農園にある成木をせん定して挿し木を作り、少しずつ株を増やしています。

味が濃く、甘みや酸味など、味のバラエティーに富むのが厚真産ハスカップの魅力といえます。「僕にとってハスカップは、人生を育ててくれる果実。苦労も含めて心から楽しい仕事です」と土居さん。サンショウウオが姿を見せる豊かな自然環境を保ちながら、今後も持続可能な農園づくりに励みます。



花き農家
折坂 泰宏さん(軽舞)

炎天下の8月、折坂さんは、本州向けの花の出荷準備に追われていました。米や畑作物に加え、花きも栽培。JAとまこまい広域花き専門部会の副部長も務めます。

お盆から晩秋まで、本州の花き生産地は端境期で、道内の花などが市場に並びます。花の出荷の最盛期に北海道胆振東部地震に遭いました。約1カ月断水が続き、毎日、給水所から水をくみ、発電機やポンプを使って「あつまの花」を市場に供給し続けました。「当時は、緊張の連続。花を栽培しているビニールハウス内に地割れができ、修復や生産、生活など必死で、喪失感との闘いでした」と振り返りました。

被災した自宅の選花場は、建て直しました。花き栽培の生命線は、温度や湿度の徹底管理。折坂さんは「手間はかかりますが、花を通じて元気な厚真をPRしたい」と胸を張ります。



新町のぞみ団地
金子 直光さん

「間もなく、引っ越して1年。早いなあ」。居間のソファで穏やかに話し始めました。団地内では、住民の声の聞き役としてコミュニケーションを深め、行政に意見を達言することもあります。

美里地区で被災し、妻と2人暮らし。妻は、玄関先で趣味の花壇づくりを楽しみ、金子さんは今も同地区にある約30アールの畑に通い、カボチャやジャガイモ、トマトなどを作っています。「くよくよしても仕方がないさ」と、気丈な一面をのぞかせました。

団地では、住民同士の会話も大切にしています。町への意見を持っていたも遠慮したり、あきらめる人もいます。そのため、日常会話の声に耳を傾け、必要があれば役場に橋渡しします。「最後に皆が良かったって思えたらそれでもいい。コミュニケーションは大切にしたいんだ」。

根底には、郷土気質がありました。住民の多くは厚真育ちで、「気心が知れて皆、温かい」と胸を張ります。また、年齢に左右されず「膝を突き合わせて五分と五分の付き合いができる。愛情に包まれたマチだよ」と語りました。住民や行政との言葉のキャッチボールを大切にしながら、町の復興を見守っています。

暮らし

町は昨年、災害公営住宅 32 戸、公営住宅 46 戸を整備しました。このうち、災害公営住宅は、本郷きずな団地 8 戸、新町のぞみ団地 20 戸、上厚真あかり団地 4 戸で、住民は昨年 9 月末から 10 月末に引っ越ししました。新たなコミュニティーが芽生えています。

また、全国初の大型福祉仮設住宅で避難生活を余儀なくされた社会福祉法人北海道厚真福祉会の新施設も昨年 12 月に隣接地に完成し、引っ越ししました。利用者は、1 カ月足らずで新たな生活環境にも慣れ、心穏やかに笑顔で生活を続けています。



利用者が穏やかに暮らしている北海道厚真福祉会の新施設



北海道厚真福祉会
近藤 泰行理事長



北海道厚真福祉会
小田 千秋常務理事

北海道胆振東部地震で施設が被災した社会福祉法人北海道厚真福祉会。

利用者は、全国初の大型福祉仮設住宅での集団生活を経て、昨年末に隣接地の新施設に引っ越ししました。今の様子について、近藤泰行理事長と小田千秋常務理事に話を聞きました。

「立派な施設に感謝しています」。利用者から、連日のように職員にお礼の言葉が寄せられます。環境変化を懸念していましたが、「すぐに環境になじんでくれました」と小田常務理事は振り返ります。新設された機能訓練室では、リハビリ訓練のほか、レクリエーションや映画の放映会なども開き、笑顔が溢れています。

悩ましいのは、新型コロナウイルス感染症です。道内で発症例が確認されて以来、施設内での家族との面会や一時帰宅は中止しています。「家に帰りたい」とか「たまたに家庭料理が食べたい」と話す人もいます。

近藤理事長は「家族と自由に会えない状況は忍びないですが、職員の努力のおかげで施設そのものが大きな家族だと思っています。皆で力を合わせ、安心して暮らせる環境を提供します」と結びました。



上から上厚真あかり団地、
本郷きずな団地、新町のぞみ団地

課題

北海道胆振東部地震から、3年が経ちました。改めてこの震災で犠牲となられた全ての御霊に対して、謹んで哀悼の誠を捧げます。

つたえり公園内に設置した慰霊碑には、発災した時刻の3時7分が刻まれています。約10秒にも満たないあの一瞬で、私たちが慣れ親しんだ自然景観は一変し、地域や家族の歴史を紡いだ家屋や生産基盤、森林は脆くも崩れ去りました。犠牲となった37名とともにこの地で同じ時を生きた証を刻み、改めて郷土の明日を切り拓いていく誓いを立てさせていただきました。

私たちは決して復旧・復興への想いを閉ざすことなく、町民一人ひとりの災害に立ち向かう姿勢とご理解ご協力により、ここまで復旧を進めることができました。今後も被災者に寄り添い誰一人として取り残すことのない復旧・復興を目指して、たゆまぬ努力を続けるとともに、被災の記憶を継承し、防災意識社会の実現を目指します。

新型コロナウイルスの感染拡大は、被災地の復旧・復興の推進にも影を落としています。協力し合い、都市との共生や地方の安全な空間を活かしてこそ、犠牲となられた方々から託されたふるさと厚真町の復旧から復興へ、復興から創生への歩みが着実なものになると信じています。

令和3年9月6日
厚真町長 宮坂 尚市朗



上：農地に仮置きされた堆積土砂の除去作業（幌内沢）
右：森林の再生や林業の復興などについて現状を説明する町職員（宇隆）



復旧事業の進ちょく状況 令和3年7月31日現在

区分	事業数	完了		完了年月 (予定)
		実施事業	完成率	
河 川	60	51	85.0%	令和4年3月
道 路・ 橋 梁	175	174	99.4%	令和4年3月
公 園	5	5	100%	令和元年10月
治 山	148	49	33.1%	令和6年3月
砂 防・ 急 傾 斜	12	12	100%	令和3年3月
宅 地 堆 積 土 砂	6	6	100%	令和2年3月
簡 易 水 道 施 設	5	5	100%	令和2年11月
下 水 道	4	4	100%	令和2年3月
宅 地 耐 震 化	2	0	0%	令和5年3月
農 地	86	86	100%	令和3年7月
農 業 用 施 設	62	62	100%	令和3年11月
林 道	28	24	85.7%	令和4年3月
合 計	593	478	80.6%	

※北海道と町事業の合計
※「治山」は治山激甚対策特別緊急事業によりR5年度まで集中的に工事を実施。R6年度以降も引き続き、治山対策工事を実施。

一次産業のマチ・厚真にとって、基幹産業の復興が大きな課題です。農業では、崩落・流出して畑や水田に堆積した土砂は、大半が除去されましたが、改めて土づくりが必要な場所もあり、継続して北海道などへ肥培管理の支援を求めています。幌内沢地区の堆積土砂の除去作業は、今年度に終了する見通しで、令和4年度からこれまで作付けできなかった一部農地でも営農再開が見込まれています。

さらに、林業では所有者と話し合いながら被災地をどのように植林していくかなどが大きな課題です。7月には、総合福祉センター大集会室で森林再生・林業復興に係るシンポジウムを開き、学術的な視点などから崩壊地の現状などについて理解を深めました。町は、国などへの財政支援を含め、北海道と共同で森林の再生と林業の復興に向けた実施計画づくりのための作業を進めています。

主なできごと（令和2年9月～）

令和2年	9月5日(土) 6日(日)	北海道胆振東部地震厚真町追悼式(自由献花方式) 正午のサイレンに合わせて黙とう
	24日(木)	上厚真あかり団地の入居開始
	28日(月)	上厚真小5年生が崩落斜面に植樹
	10月16日(金)	JUAVACドローンエキスパートアカデミー 北海道校とパートナーシップ協定締結
	24日(土)	新町のぞみ団地・本郷きずな団地の入居開始
	11月27日(金)	ヤマト運輸株式会社と災害時における物資の緊急・救援輸送に関する協定締結
	12月20日(日)	社会福祉法人北海道厚真福祉会が新施設に引っ越し
	29日(火)	臨時災害放送局のあつま災害工フエム閉局
令和3年	2月19日(金)	一般社団法人日本ムービングハウス協会と災害時等における応急仮設住宅の建設に関する協定締結
	3月31日(水)	「第4次厚真町総合計画 改定版」を策定
	5月10日(月)	ウォレットジャパン株式会社と災害時の協定締結
	15日(土)	吉野地区に公益財団法人吉野山保勝会から寄贈されたシロヤマザクラの苗木を植樹
	7月3日(土) 29日(木)	森林再生・林業復興シンポジウム開催 Animal total care HAYACI災害時の動物救護活動等に関する協定を改定・締結
	8月14日(土)	吉野生活館跡地に献花台設置 (16日、9月4日～6日)
	9月5日(日)	慰霊碑除幕式(京町・つたえり公園) 北海道胆振東部地震厚真町追悼式
	6日(月)	正午のサイレンに合わせて黙とう

土地・家屋の現所有者の申告（令和4年から）

住民課 税務グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

登記名義人の死亡により現所有者となる方で、3カ月以内に名義変更登記しない場合は申告が必要です。

固定資産税は、賦課期日（各年の1月1日）時点で登記簿または固定資産税課税台帳に登記または登録されている方に納めていただくものです。

しかし、上記の方が賦課期日前に亡くなっている等の理由により存在しない場合には、当該固定資産を現に所有している方（現所有者といえます）に固定資産税を納めていただきます。

令和4年1月1日から、登記名義人等が亡くなり、町内の土地・家屋の現所有者となる方で、右記の申告期限までに不動産登記上の名義変更手続き（相続登記）などをしない場合は、住民課税務グループに現所有者の住所、氏名などの申告が必要となります。

●申告期限
ご自身が現所有者であることを知った日の翌日から3カ月を経過した日

●問い合わせ
詳しくは、住民課税務グループまでお問い合わせください。

農地中間管理機構による 農地の借受希望者(受け手)募集

公益財団法人北海道農業公社 日胆支所業務農地課 ☎ 0144-32-8171
町農業委員会事務局 ☎ 27-2409

農地中間管理機構である公益財団法人北海道農業公社では、農地を借りたい人(受け手)を募集しています。

募集は年2～3回(5月と9月のほか不定期実施)の決められた期間のみですので、地域農業の担い手の方や経営規模の拡大または分散^{ぶんさんさんかく}錯^{さく}圃^ぼの解消を希望される方などは、忘れずに申請(借受希望)の手続きを行ってください。

・借受希望の申請ですので、この申請により農地の借り受けが決定するわけではありません。

・平成29年度以降に申請された方は5年間有効ですので、申請の必要はありません。平成28年度以前に申請された方はすでに有効期限が切れていますので、借り受けを希望する場合には必ず手続きしてください。

●受付期間 9月30日(木)まで

敬老会に係る補助金交付

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

自治会・老人クラブで独自に敬老会などを実施する場合、実施経費に対して補助金を交付します。

●対象
敬老を祝う事業を実施する自治会、老人クラブ

●補助対象経費
敬老を祝う事業に要した経費

●補助額
1人につき3,000円
※満79歳(数え年80歳)以上となる町内在住の高齢者(昭和17年12月31日以前生まれの方)を補助対象とします。
※1人につき1回の補助

●申請書類
・補助金等交付申請書
・事業計画・収支予算書
・参加者名簿

●申請期間
12月29日(水)まで

厚真町敬老会の中止

今年度の厚真町敬老会は中止します。

毎年9月に実施していた厚真町敬老会は、道内にまん延している新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度も開催を中止します。

住民課 福祉グループ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

町の年末年始の休日が変わります

条例改正により、町の各機関の年末年始の休日が変更となります。

【旧】12月31日～1月5日

【新】12月30日～1月4日

総務課 総務人事グループ☎ 27-2322

通院交通費の助成

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

心身障がいや指定難病および肝炎患者の治療などにかかる交通費を助成します。

●対象者
町内に住所があり、かつ居住されている方(生活保護受給者を除く)で、以下の①～③に該当する方

①在宅精神障がい回復者
・精神障害者保健福祉手帳を所持している方

②腎臓機能障がい者(人工透析)・指定難病・肝炎患者
・人工透析を受けている方で、町の送迎バスを利用していない方
・特定医療費(指定難病)受給者証をお持ちの方
・ウイルス性肝炎進行防止対策医療受給者証をお持ちの方

③重度心身障がい児等
・18歳未満の重度の障がい児のうち、身体障害者手帳1～2級(内部障がいは3級まで)所持者
・療育手帳所持者でA判定またはB判定でIQ50以下の児童
・精神障害者保健福祉手帳1級を所持する児童
※保護者等の介護者1人についても対象となります。

●助成内容
町外医療機関の通院に要する交通費

●通院期間
令和3年4月分～9月分まで

●申請書類
①通院交通費助成金交付申請書
②通院証明(医療機関で証明印をもらう)
③身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証、ウイルス性肝炎進行防止対策医療受給者証のいずれかの写し
※①②は住民課福祉グループまたは上厚真支所にあります。

●申請期限
10月8日(金)

●受付窓口
住民課福祉グループまたは上厚真支所

コミュニティ運動推進協議会事務局 ☎ 27-3179
(まちづくり推進課 企画調整グループ内)

コミュニティ活動補助

地域文化の育成や環境美化活動に係る費用の一部を助成しています。

地域花壇づくり活動助成事業

▷他のモデルとなることが期待できる花壇の管理費を助成します。

対 象 自治会・町内の団体

補助金額 沿道の花壇施設費…面積が5㎡以上10㎡未満は1万5千円、10㎡以上は2万円
花壇の管理費…1団体の上限7千円(予算の範囲内で助成)

募集期間 11月30日(火)まで

フラワーマスター育成事業

▷フラワーマスター認定講習会受講に係る旅費等を支給します。

対 象 町民

補助金額 講習会受講旅費(実費分)

募集期間 11月30日(火)まで

空き缶拾い活動奨励事業

▷空き缶拾い活動に対して助成します。

対 象 団体(15人以上)

補助金額 年3千円以内

募集期間 11月30日(火)まで

個性的文化活動奨励事業

▷町内の団体、サークルなどが自主的・主体的に取り組む事業に対して補助します。

対 象 町民(10人以上)

補助金額 開放的で個性的な文化活動の初期投資経費として1回に限り上限3万円(予算の範囲内で助成)

募集期間 11月30日(火)まで

厚真町森林愛護組合事務局 ☎ 27-2419
(産業経済課 林業水産グループ内)

緑化推進等補助

町内での緑化や森林と人との関係づくりに係る費用の一部を助成しています。

緑化推進事業

▷町民が目にすることができるところに緑化木を植栽する際の苗木代や資材費を助成します。

対 象 町民・町内の団体

補助金額 1件5万円以内

募集期間 10月29日(金)まで

森づくり活動助成事業

▷他の補助金を活用しない森林整備や環境教育プログラムなどに使用する資材費などを助成します。

対 象 町民・町内の団体

補助金額 1件5万円以内

募集期間 12月29日(水)まで

町では、災害情報や町からのお知らせが放送される「防災行政無線受信機」を無償貸与しています。



「もしものとき」は明日かもしれない 問い合わせ 総務課 防災グループ ☎ 27-2481

防災のページ 北海道太平洋沿岸の津波浸水想定を公表

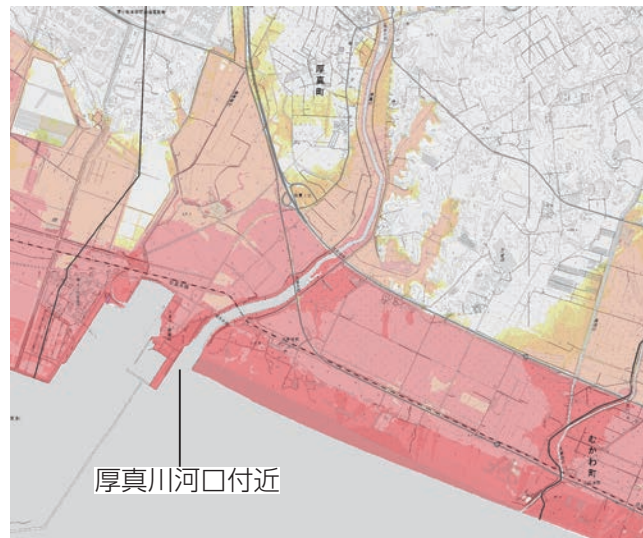
北海道は7月19日、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）に基づき、北海道太平洋沿岸（羅臼町から福島町の沿岸及び内陸市町村）の津波浸水想定（最大クラスの津波があった場合に想定される浸水の区域及び水深）を設定し、公表しました。これは、千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震に伴う津波を想定して、日本海溝でマグニチュー

ド9.1、千島海溝でマグニチュード9.3の地震が発生した場合の最大津波の推計結果を表しています。巨大地震による大きな津波は、過去300～400年間隔で発生していて、既に前回から同程度の期間が経過していることから、専門家は千島海溝・日本海溝では津波の発生が切迫してる状況にあると指摘しています。

厚真町沿岸における津波浸水想定

厚真川河口付近で予測される津波諸元				
最大津波高	影響開始時間		(参考)	
7.7m	±20cm	+20cm	第1波	最大波
	21分	39分	46分	46分

※最大津波高は、地点周辺における最高の津波高さ(標高)
※浸水深は、各地の地表面からの水面の高さ
※浸水域は、津波が海岸線から陸域に遡上することが想定される区域
※影響開始時間は、地震による地盤沈下に伴い低下した地震発生直後の海面(初期水位)に、±20cmの変動が生じる時間で、海岸・海中の人命に影響が出るおそれのある水位変化が生じるまでの時間
※最大波は、第1波ではなく、第2波以降に最大となる場合もある。また、実際の津波到達予想時間は、これより早くなる場合もある。
※海岸・海中での影響開始時間と誤って認識し、避難が遅れるのを防ぐため、第1波到達時間及び最大波を(参考)としている。



詳しくは、道ホームページ「北海道太平洋沿岸の津波浸水想定」の公表について」をご確認ください。
町では、北海道の公表を受けてハザードマップを更新し、町民の皆さんに配布できるよう準備を進めています。



ハザードマップ
看板の設置

厚真ライオンズクラブから寄贈を受けたハザードマップの看板が、役場本庁舎正面、上厚真支所、浜厚真海浜公園の3カ所に設置されています。看板には厚真川の洪水が発生した場合の浸水予想、土砂災害危険箇所、避難所一覧などの他、浜厚真海浜公園の看板には、津波ハザードマップが表記されています。避難対策に活用してください。

Jアラート 全国一斉情報伝達試験

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、次のとおり情報伝達試験を行います。
・厚真町以外の地域でも、さまざまな手段で情報伝達試験が行われます。
・携帯電話やスマートフォンなどへの伝達はありません。

10月6日 水 11時ごろ
※災害等の発生により、試験を中止する場合があります。

Jアラートの自動起動機を使用して防災行政無線・屋外拡声器から放送される標準メッセージは次のとおりです。
♪上りチャイム音♪
「これは、Jアラートのテストです」×3回
「こちらは、ぼうさいあつまです」
♪下りチャイム音♪

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎ 27-2481

新型コロナウイルス感染症に関する

支援情報

飲食店応援緊急経済対策商品券事業 あつまフードエール商品券

町は、町内の緊急経済対策事業として、新型コロナウイルス感染症で外出自粛の制約を受けている町民や多大な影響を受けている町内の飲食店を支援するため、プレミアム付商品券を発行します。

新北海道スタイルを実践しながら、ご家族や知人・友人と飲食をお楽しみください。

・プレミアム率 50%

・販売価格 1口5,000円(額面7,500円)

・総販売口数 1,000口

・購入限度額 1人4口(2万円)まで
※額面3万円

・購入方法
厚真町商工会の窓口限定で販売
※先着順で、売り切れ次第、販売を終了します

・販売・使用期間
10月5日(火)～令和4年1月14日(金)

・申請窓口・問い合わせ
町商工会 ☎27-2456
町産業経済課 経済グループ ☎27-2486

子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、住民税非課税の低所得の子育て世帯へ「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給します。

・対象者
①令和3年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の受給者で、令和3年度分の住民税(均等割)が非課税の方
②①以外の方で、令和3年3月31日時点で18歳未満の子(障害児は20歳未満)を養育しており、次のいずれかに該当する方
・令和3年度分の住民税(均等割)が非課税の方
・令和3年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった方(家計急変者)
※①は申請不要(8月下旬に支給済)、②は申請が必要
※令和3年4月から令和4年2月末までに生まれる新生児も対象となります
※子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を受け取った方は除きます

・支給額 児童1人あたり一律5万円

・受付期間 令和4年3月14日(月)まで

・支払期間 令和4年3月28日(月)まで

・その他
申請書は住民課子育て支援グループにあります。必要事項を記入し、郵送または窓口提出してください。

・問い合わせ
町住民課 子育て支援グループ ☎26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

地震に備える

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249
気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma>

2018年9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」から3年が経過しました。この地震では北海道内で初めて震度7が観測され、広い範囲で非常に強い揺れとなり大きな被害が出てしまいました。

もし、大きな地震による強い揺れを感じたときには、まずは落ち着いて身を守ってください。学校など屋内にいる場合には座布団やヘルメットなどで頭を守り、丈夫な机の下のような安全なスペースに避難してください。建物の倒壊や火災、津波の恐れがある場合には、地震の揺れが収まってから周囲の安全を確認して避難をしてください。

いつ起きるか分からない地震から身を守るには、普段からの準備が大切になります。防災用品の準備をしたり、地震の揺れで家具が倒れてこないように固定しておきましょう。学校や仕事などで、家族が違う場所にいるときに地震が発生する場合がありますので、避難場所や避難経路、連絡方法などについて日ごろから家庭で話し合っておくことも重要です。

気象庁では、地震が発生してから揺れの強さや到達時刻を計算し、可能な限り揺れる前にお知らせする、緊急地震速報を発表しています。テレビやラジオなどで緊急地震速報を見聞きしたときには、すぐに身の安全を確保するようにしてください。

気象台ノート



国民年金

国民年金は、20歳以上の国民みんなが加入する大切な制度です。一人でも多くの方に国民年金について理解していただけるよう、年4回に分けて、仕組みなどを紹介します。



国民年金保険料は

納付期限までに納めましょう

令和3年4月分から令和4年3月分までの国民年金保険料は、月額1万6,610円です。

保険料は、日本年金機構から送付される納付書により、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納めることができます。

また、クレジットカードやインターネットなどを利用しての納付、そして便利でお得な口座振替もあります。

日本年金機構では、国民年金保険料を納付期限までに納めていただけない方に対して、電話・文書・訪問により早期に納めていただくよう案内を行っています。

未納のまま放置されると、強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付がない場合は、延滞金が課されるだけではなく、納付義務のある方(※)の財産が差し押さえられることがありますので、早めの納付をお願いします。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、保険料が免除・猶予される制度がありますので、住民課町民生活グループにご相談ください。

※納付義務者は被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者および世帯主です。

国民年金保険料免除等の申請について

保険料が納め忘れの状態でも、万が一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

経済的な理由などで国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度(50歳未満)」がありますので、住民課町民生活グループで手続きをしてください。申請書は、窓口に備え付けてあります。

令和3年度分(令和3年7月分から令和4年6月分まで)の

免除などの受け付けは7月1日から開始しています。

また、申請時点の2年1カ月前の月分までさかのぼって申請することができます。

失業などにより保険料を納付することが経済的に困難になったものの、申請を忘れていた期間がある方は、住民課町民生活グループまたは年金事務所へご相談ください。

国民年金の加入方法

国民年金は、誰もが加入する公的年金制度です。

基本的に日本に住む20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入する義務があります。

加入者は、職業などによって次の3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。会社を退職したときは、第2号被保険者から第1号被保険者への変更の手続きが必要となりますので、お早目に手続きをお願いします。

第1号被保険者

20歳以上60歳未満の農業者、自営業者、学生、フリーター、無職の方などです。加入手続きは、ご自身で住民課町民生活グループで行います。

第2号被保険者

会社員や公務員などの厚生年金保険に加入されている方です。加入手続きは、勤務先が行います。

第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されていて、年収130万円未満の20歳以上60歳未満の配偶者の方です。加入手続きは、第2号被保険者の勤務先を経由して行います。

年金相談・お手続きの際はぜひご予約を！

日本年金機構の全国の年金事務所では、年金相談や年金請求手続きについて、予約相談を行っています。

お待たせ時間の少ない予約相談をぜひご利用ください。

予約の方法は、全国共通の予約専用受け付け電話またはお近くの年金事務所へ電話・来訪時にお申込みください。

◆予約相談希望日の1カ月前から前日まで受け付けています。

◆お申込みの際は、基礎年金番号のわかるもの(年金手帳や年金証書など)をご用意ください。

令和3年度の国民年金保険料
月額16,610円

納付は口座振替が便利です。
また、前納すると割引がありお得です。

相談・問い合わせ

住民課 町民生活グループ (総合ケアセンターゆくり内) ☎26-7871

日本年金機構苫小牧年金事務所 ☎0144-36-6135

予約専用受付電話 ☎0570-05-4890

地域おこし協力隊の2人に委嘱状交付 三木奈津美さんと佐々木拓哉さん

町は8月3日、企業研修型地域おこし協力隊の三木奈津美さんと佐々木拓哉さんの2人に委嘱状を交付しました。

三木さんは旭川市出身で、グラフィックデザインなどの事業を行ってきました。特産品開発のほか、森林や一次産業に関する知見を深めて新たな事業展開を図るのが目標です。また、佐々木さんは広島県出身で、林業関連の会社で木材チップの生産管理などを担当していました。木材の需要開拓と流通拠点づくりを目指します。

委嘱状の交付後、三木さんは「厚真町は、北海道で今、一番熱いマチだと思います。将来、森林関係の会社を立ち上げたい」と語り、佐々木さんは「北海道ならではの木材の供給や人とのかわりを深めながら、地域を盛り上げたいと思います」と抱負を語りました。



町長を挟んで委嘱状を手にする三木さんと佐々木さん（左から）



東京2020パラリンピック厚真町採火式 上幌内モイ遺跡で見つかった 火打石にちなんで火起こし

東京2020パラリンピック厚真町採火式(町運営員会主催)が8月14日、軽舞遺跡調査整理事務所前広場で行われました。厚真町では、厚幌ダム工事の際の発掘調査で上幌内モイ遺跡から平成16年に見つかった約1000年前の道内最古の火打石にちなみ、厚真川上流で採取したチャートと呼ばれる火打石で火を起こしました。

パラリンピックの採火式は、全国47都道府県で行われ、聖火リレーに使う採火の火には、多様な光(人)が集まり出会うことで、共生社会を照らす光にしようとの思いを表現しています。

町採火式には、NPO法人ゆうあいネットあつまや身体障がい者福祉協会厚真支部、町議会から来賓が出席。社会福祉法人北海道厚真福祉会はリモートで参加しました。司会者の合図で、代表者が五輪マークの施された5つのテーブルで一斉に火打石で火を起こし、たいまつを使ってランタンに移しました。

全国で行われた採火の火は当初、東京に集約して聖火リレーとして競技開催地を巡る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で東京への集約は一部地域にとどまりました。



火打石で着火した火をたいまつに灯す参加者たち(上)両手を掲げてトーチに灯した火を披露する身体障がい者福祉協会厚真支部副支部長の中川登さん(下)

夏の交通安全運動 95人が街頭啓発

夏の交通安全運動初日の7月13日、厚真市街地の交差点で町内の事業所・団体など95人が街頭啓発しました。

重点目標は、飲酒運転の根絶やスピードダウン、全席シートベルトの着用、子供と高齢者の交通事故防止です。参加者は、のぼり旗を持って交差点の沿道に整列し、行き交うドライバーに交通安全を呼びかけました。



交差点の沿道で交通安全を呼びかける参加者たち

こども園つみき(油谷諭園長)と宮の森こども園(宮下葉子園長)の年長児36人が7月16日、こども園つみきの前庭で遊びを通じて交流を深めました。

両こども園は、年間3、4回、相互交流していますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年の交流は今回が初めて。こども園つみきの前庭には、整備されたばかりの大きな山や滑り台、トンネル、丸太を組み合わせでジャングルジムのように仕立てた「森のラビリンス」と呼ばれる遊具などがあります。園児の中には裸足で駆け回る子もいて、前庭は楽しげな声に包まれました。

こども園つみきと宮の森こども園 年長が交流



山の滑り台などで元気に遊ぶ園児たち



ザ・ロイヤルエクスプレスに体験乗車 被災3町の児童が優雅な鉄道の旅を満喫

北海道胆振東部地震の被災3町(厚真町、安平町、むかわ町)の児童20人が7月27日、豪華観光列車のザ・ロイヤルエクスプレスに体験乗車し、JR札幌駅からJR南千歳駅まで優雅な鉄道の旅を満喫しました。

体験乗車は、北海道鉄道活性化協議会、東急株式会社、JR北海道の3者が主催。8月13日からの運行に先立ち、被災地の児童から希望を募り、町内からは厚真中央小学校と上厚真小学校の児童6人が参加しました。JR札幌駅では、出発を前に鈴木知事が「北海道の素晴らしさをみんなからも発信してください。楽しんでください」とあいさつし、子どもたちを見送りました。

子どもたちは、ダイニングカーでバイオリンの演奏を聴いたり車窓から景色を楽しむなど、約1時間の列車の旅を楽しみました。



出発前の車両を背に記念撮影する厚真町の参加者(上)ダイニングカーでバイオリンの演奏に耳を傾けるこどもたち(下)写真提供:東急株式会社



厚真町庁舎周辺等整備基本構想・基本計画

「厚真町庁舎周辺等整備基本構想・基本計画」の策定にあたり町民の皆さまを対象に今年6月に実施したアンケート結果の一部を紹介します。

アンケート結果

抜粋版

対象者：町内に居住する15歳以上(高校生以上)の町民(無作為抽出)
調査期間：令和3年6月4日～6月18日 調査方法：郵送(配布、回収)
回収結果：発送数1,361票 回収数(率)489票(35.9%)
※複数回答のものもあるため、構成比は100%にならない場合がある

役場庁舎および周辺施設をどれくらいの頻度で利用しますか？
すべての施設で週に1回以上の利用頻度は1割未満と少ないことが分かりました。

	役場庁舎	青少年センター	創作館	総合福祉センター	総合ケアセンターゆくり	児童会館
ほぼ毎日	13(2.7%)	4(0.8%)	0(0.0%)	3(0.6%)	8(1.6%)	6(1.2%)
週に2～3回	5(1.0%)	10(2.0%)	2(0.4%)	4(0.8%)	13(2.7%)	1(0.2%)
週に1回程度	8(1.6%)	6(1.2%)	3(0.6%)	9(1.8%)	11(2.2%)	4(0.8%)
月に2～3回	31(6.3%)	36(7.4%)	1(0.2%)	37(7.6%)	35(7.2%)	1(0.2%)
年に5～6回	74(15.1%)	54(11.0%)	2(0.4%)	77(15.7%)	117(23.9%)	9(1.8%)
年に2～3回	117(23.9%)	50(10.2%)	3(0.6%)	105(21.5%)	125(25.6%)	7(1.4%)
年に1回	113(23.1%)	57(11.7%)	7(1.4%)	93(19.0%)	68(13.9%)	12(2.5%)
訪れない	98(20.0%)	227(46.4%)	422(86.3%)	125(25.6%)	86(17.6%)	399(81.6%)
無回答	30(6.1%)	45(9.2%)	49(10.0%)	36(7.4%)	26(5.3%)	50(10.2%)

役場庁舎および周辺施設にどんなことが必要だと思いますか？(上位の回答)

わからない事や困ったことを何でも相談したり教えてくれる	175(43.4%)
買い物や飲食ができる	156(38.7%)
特に用事はないが、気軽に立ち寄れる	145(36.0%)
色々なイベントができるようなところ	135(33.5%)
子連れでも行きやすく、子どもが遊べる	132(32.8%)
ゆっくり本を読んだり、調べ物をしたり勉強ができる	121(30.0%)
厚真町の歴史や文化が良く分かり資料が保存されて、情報を発信する	99(24.6%)
友人や知り合いとワイワイおしゃべりできる	89(22.1%)

その他の意見
 ・駐車場の整備
 ・いろいろな世代の人が交流できる場所や施設
 ・町民がエコ活動に関われるような場所や施設
 ・図書「館」(1つの施設として)
 ・夕食後に散歩ができるコース など

現役場庁舎をどのように感じますか？

現役場庁舎に愛着を感じる	34	7.0%
現役場庁舎は町の歴史とともに歩んだ建物として貴重だと感じる	167	34.2%
現役場庁舎に愛着を感じない	110	22.5%
現役場庁舎を貴重だとは思わない	71	14.5%

役場庁舎をどのようなすれば良いと思いますか？

災害に備え安全対策を講じたうえで活用	198	40.5%
現状のまま保存すべき	43	8.8%
解体すべき	137	28.0%
その他	54	11.0%

その他の意見
 ・解体カリノベーション
 ・今後、必要かどうかしっかり議論すればよいと思う
 ・災害に強い(ハード、ソフトを含める)こと
 ・新しく建て直すべき など

役場庁舎および周辺施設の整備に関する意見・要望

- どうしても周辺も整備しなくてはいけないのかわからない。庁舎だけ新しくすれば良いと思う。その際、駐車場をもう少し広くし、庁舎が明るくわかりやすくしてほしい。
- 役場庁舎、総合福祉センター、総合ケアセンター「ゆくり」の動線を考慮した新庁舎。職員や利用者にとって利便性ある施設であってほしい。
- 公共施設がなんとなく集まっている様だが、支払い、住宅、住民票、教育委員会、場所がそれぞれ違い不便。
- 駐車場や子どもの遊べるスペースがあれば良いと思う。

調査結果の詳細(全体版)は町ホームページで公開しています。

厚真町地域おこし協力隊

起業型地域おこし協力隊
 さかの 坂野 昇平さん(28歳)
 着任▽令和3年4月(1年目)
 出身地▽千歳市



厚真町では今何をしていますか？

林業に関わる仕事をしています。間伐作業や苗木の植え付け、下草刈りなど。炭作りの手伝いやまき作り、CNCルーター(コンピューター制御の木工機械)を用いた木工製作もしています。いろんな人が遊びに来たくなるような森づくりがしたいなと思っています。

昔から森に興味があったのですか？

小学校の頃、いわゆる環境問題に興味を持ちました。日本は東南アジアからラワン材を輸入している。そのラワン材のある山は全部切られてしまふ。皆伐された森は、保水力がなく雨に土壌が流されてしまい、その山は再生されない。しかも、そのようにして運ばれたラワン材は、都会の

建物の型取りに使われただけで捨てられてしまふ。都会のしわ寄せが他の国にいつていることにすぐく矛盾を感じました。

その後もずっと森や林業を学んだのですか？
 大学に進学し、農学部で林学を専攻しました。日本の林業や木材利用がより経済的なれば良いと考えました。バイオマス発電、高性能の林業機械、他の国の事例などを調べました。どれも最初は可能性があるなと思うのですが、細部まで見ていくと、本当に全体としての効率が良いのか、日本に合っているのか？など、さまざまな疑問にあたっていました。

厚真町で林業に関わるというのはどういう縁ですか？
 いろいろ調べる中で斜面の角度がきつい日本の林業の課

題は「切った木をいかに搬出するか？」ということだと思いましたが、環境に負荷をかけるような搬出とは？と調べているときに「馬搬」という手法を知りました。その馬搬を手掛ける西埜さん(地域おこし協力隊2017年着任)という方が厚真町にいらると知り、実際に会ってみようと思ったのがきっかけです。西埜さんをはじめ厚真町の林業家の皆さんと一緒に仕事をして感じるのは、すごくタフだし、技術力もあるし、前向きということ。僕も頑張らなきゃいけないと刺激になっています。

3年後への思いを聞かせてください
 しっかりと林業家としてのスキルを身に着けること、人と森をつなげる場所づくりができるようになりたいなと思っています。

発表します!! 将来の夢&目標

上厚真小学校6年





管理栄養士
たけだ 早苗
竹田

健康情報

毎日いきいき過ごすための食習慣

日本は、「健康で長生き」への関心が高く、人生100年時代と言われる超高齢化社会となっています。私たちの身体は食べたものからできているので、何を食べるかがとても重要になります。自分らしく元気に過ごし、いつまでもおいしく食事を楽しむための食習慣のポイントをお伝えします。

一日の始まりは朝食から

朝食には、体温を上昇させ、脳や身体に一日の始まりを知らせてくれる役割があります。欠食すると体内時計が乱れ、心身の不調や肥満につながる可能性があります。

元気な腸は免疫力を高める

食生活の乱れやストレスなどで腸内環境が乱れると、便秘や下痢といった腸の不調だけではなく、免疫力の低下や様々な病気を引き起こします。腸内細菌の増殖を助け、免疫細胞が住みやすい環境を作る発酵食品や食物繊維の多い食品を積極的に取りましょ。

酸化ストレスから身体を守る

体のサビと言われる活性酸素がたまる、体の細胞が酸化し、老化や病気の原因になると言われています。活性酸素を除去するためには、抗酸化作用のあるビタミンA、C、Eを多く含む食材を積極的に取りましょ。

- 〈ビタミンA〉カボチャ、ホウレン草、小松菜、ニンジンなど
- 〈ビタミンC〉ブロッコリー、赤ピーマン、小松菜、レンコン、果物など
- 〈ビタミンE〉カボチャ、ホウレン草、ブロッコリー、キウイフルーツなど
- 〈食物繊維〉野菜、キノコ類、豆類、海藻、こんにやくなど
- 〈発酵食品〉ヨーグルト、みそ、納豆、酢、甘酒など

糖質の取り過ぎに気をつける

余分な糖が体内のたんぱく質と結びつくと、肌や骨、血管の老化を早

める物質が作られます。砂糖を多く使った煮物や酢の物、甘いジュースや菓子類、ごはんやパン、麺類などの主食が多くならないようにバランスには気をつけましょ。

食べる順番に気をつける

脂肪を身体にため過ぎないために、食べる順番に気をつけましょ。血糖値が急上昇すると余分な糖が中性脂肪としてたまるので、野菜など食物繊維の多い食品を使った副菜から先に食べ、最後にご飯やパン、麺類などの主食を食べましょ。食物繊維は糖の吸収を遅くし、血糖の上昇を緩やかにする働きがあります。

例①ホウレン草のお浸し、ひじきの煮物↓②肉の炒め物↓③ごはん

丈夫な骨と筋肉をつける

年齢を重ねるとともにカルシウムの吸収が悪くなって骨密度が低下し、筋肉も徐々に減っていきましょ。カルシウムが豊富に含まれる牛乳、乳製品や良質なたんぱく質が含まれる魚、肉、卵、大豆製品などを取り取りましょ。



厚高インフォメーション Atsuma High school Information



学校の取り組みをご覧ください。
厚真高校ホームページ
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

■学校祭（厚高祭）（7月15日・16日）
新型コロナウイルス対策のため、一般公開せずに実施。生徒会の生徒が中心となり、企画・運営しました。今年の学校祭テーマは「笑顔の花を咲かせよう」です。各学年は協力しながら、クラス展示やクラスパフォーマンスなどを行いました。昼食は、グラウンドで恒例の「あづまジンギスカン」を食べました。今年も、コロナ

禍で制約がある中での実施でしたが、創意工夫しながら取り組んだことは、生徒たちの記憶に残ると思います。
■インターンシップ農業体験1年（7月21日）
地域に根ざした特色ある取り組みの一環として、本町の基幹産業である農業体験を実施しました。町のスクールバスで、農業担い手センター（旧富野小学校）に移動し、ホウレン草・イチゴ・ブロッコリーの収穫を体験しました。農業担い手センターのみなさんにお世話になりました。

■全校集会（7月26日）

夏季休業前の全校集会を行いました。夏休みを有意義に過ごすための留意点や表彰伝達を通して、学習や部活動などの成果を確認しました。漢字検定や英検に合格した生徒が、全校生徒の前で表彰されました。清水美由紀校長から、3つの「養」のお話があり、教養・



農業体験をする生徒

休養・栄養の3つの「養」を大切にして、正しい知識を身につけ、しっかり休養と栄養を取り、生活リズムを整えつつ自己免疫力を高める有意義な夏休みを過ごしてほしいです。
■食品衛生責任者養成講習会（7月28日）
苫小牧地方食品衛生協会から、岡田三男さんと市原敏さんの2人を講師に招き実施。午前中は、食品衛生学Ⅰ・食品衛生学Ⅱ、昼食・休憩後、午後から食品衛生法Ⅰ・食品衛生法Ⅱ・確認テスト。夏休み中にもかかわらず、希望生徒34人は、暑い教室で熱く取り組み、一日がかりで受講しました。

令和3年度 花いっぱいコンクール 結果発表

令和3年度の花いっぱいコンクールが7月20日（火）に行われました。環境美化に取り組んでいる花壇などを募集し、個人の部7件、団体の部3件の応募がありました。フラワーマスターとコミュニティ運動推進協議会の役員が審査し、個人・団体の部門の入賞がそれぞれ決まりました。

団体の部

1位



東和婦人会（東和生活会館前）

2位



鹿沼婦人会（鹿沼マナビィハウス前）

3位



新町自治会（中央小学校坂下）

個人の部

1位



鹿沼 飛渡恵美子さん

2位



鹿沼 今村陽子さん

3位



宇隆 尾谷道子さん



新型コロナワクチン

町に転入された方へ

転入された方は、申請することで接種券の交付を受けられます。転入前に接種を受けているか確認する必要がありますため、前住所で接種券が発行されている場合は、接種券を持参の上、住民課健康推進グループ窓口で申請してください。

12歳になられる方へ

12歳以上が接種の対象です。12歳になられる方で、接種を希望される方は、住民課健康推進グループまでご連絡ください。

こころの相談



本人やご家族の
こころの健康について
臨床心理士が相談に応じます。

と き	9月17日(金)、10月15日(金) 10時～15時(一人あたり50分程度)
ところ	総合ケアセンターゆくり
申し込み	相談日の1週間前までに住民課 健康推進グループにお申し込みください。

保健所の相談・検査をご利用ください 問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	内 容	日 程	受付・予約
新型コロナウイルス感染症対策におけるこころの健康相談	保健師・精神保健福祉士などへの相談(面接・電話)	平日8時45分～17時30分	苫小牧保健所 ☎0144-34-4168
医療相談	保健・医療・福祉などの相談		
女性の健康相談	妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	10月19日 ㊟	
肝炎ウィルス検査	感染が疑われる方は無料(要事前確認)	10月5日 ㊟	
骨髄バンク登録	登録の基準があります	10月5日 ㊟、19日 ㊟	
HTLV-1抗体検査	検査日の20日前までに予約してください	10月19日 ㊟	エイズ専用電話 ☎0144-35-7474
HIV検査(エイズ相談)	無料、匿名検査(要事前確認)	10月5日 ㊟、19日 ㊟	

10月の日曜・祝日当番医 診療時間：9時～17時

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話(0144)
3日(日)	内科系	波岡内科消化器科クリニック	東開町4-20-18	51-2811
	外科系	アーク整形外科クリニック	ときわ町3-15-34	53-7100
10日(日)	内科系	合田内科小児科医院	音羽町2-17-3	33-9208
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
17日(日)	内科系	苫都病院	若草町5-10-21	34-2135
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
24日(日)	内科系	加藤胃腸内科クリニック	緑町2-5-20	35-2125
	外科系	にしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	31-2000
31日(日)	内科系	横山内科消化器科	川沿町4-1-2	74-0011
	外科系	ハート整形ペインクリニック	三光町2-5-3	38-7000

※医療機関が変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

苫小牧市夜間休日急病センター

夜間・休日は急病センターも診察を受け付けています。
診療科目 内科・小児科
住 所 苫小牧市旭町2-9-2
電 話 0144-32-0099
平 日 19時～翌朝7時
診療時間 土 曜 日 14時～翌朝7時
休 日 9時～翌朝7時

北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
☎0120-20-8699
☎011-221-8699(携帯・PHSから)

健診・検診・相談・教室など

乳幼児歯科健診・フッ素塗布

対 象	①こども園に入園していない1歳から就学前のお子さん(個別にご案内します) ②都合によりこども園で実施できないお子さん ③1歳未満で歯が8本以上生えているお子さん
と き・ところ	10月8日(金) 厚南子育て支援センター 10月12日(火) 総合ケアセンターゆくり
申 し 込 み	9月30日(木) までに住民課健康推進グループにお申込みください。
持 ち 物	歯の健康ノート、歯ブラシ、タオル

乳幼児相談

対 象	生後2カ月～1歳2カ月までのお子さんと保護者
と き	10月1日(金) 10時～11時15分(受付)
と ころ	厚真子育て支援センター
持 ち 物	母子健康手帳、バスタオル

献血

対 象	10月8日(金)
と き	総合ケアセンターゆくり 9時30分～11時45分 13時15分～14時45分
と ころ	厚南会館 15時30～16時30分

予防接種

接種できる日	未 就 学 児 毎週水曜日 14時～15時(この時間は一般診療休み) 小学生～19歳 毎週月・金曜日 9時～12時、14時～17時 毎週水曜日 9時～12時、15時～17時	予防接種 専用サイト 
予 約	あつまクリニック ☎27-2422 京町15	
受付・接種場所	前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間：9時～12時、14時～17時)	
持 ち 物	母子健康手帳、予診票	

◎予約時は、予防接種専用サイトで予約の可否を確認してください。
専用サイトと母子手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

ワクチン	対 象 者	標 準 的 な 接 種 期 間 と 回 数
B 型 肝 炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上空けて2回 (追加)1回目終了後から20週以上空けて1回
ロ タ ウ イ ル ス	生後6～24週未満	27日以上空けて2回
ヒ ブ	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上空けて3回) (追加)初回後7～13カ月空けて1回
小 児 肺 炎 球 菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上空けて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上空けて1回)
四 種 混 合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後3～90カ月未満	(初回)生後3～12カ月未満に20～56日空けて3回 (追加)初回後12～18カ月空けて1回
二 種 混 合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	1回
B C G	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
M R 混 合 (麻しん・風しん)	①生後12～24カ月まで ②平成27年4月2日～平成28年4月1日 生まれ(小学校就学前の1年間)	①、②ともに1回
水 痘 (水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月空けて1回
おたふくかぜ(任意)	1～3歳未満 ※任意ですが町独自の助成により初回1回のみ無料 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回
日 本 脳 炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳：6～28日空けて2回 (1期追加)4歳：1期初回終了後約1年空けて1回 (2期)9歳：1回

※日本脳炎ワクチンの供給量が大幅に減少しており、優先接種対象者が定められていることから、ワクチンの納入状況により、予約をお断りすることがあります。

まちの アイドル

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。
(メール)kikaku@town.atsuma.lg.jp



いけだ かずとくん(3)



すがわら みつばちゃん(3)



もりやま けんくん(3)

子育て支援センター



10月のよてい

問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)

子育て講座 手形・足形アート

日 時：10月13日(水) 10時～11時
場 所：厚南子育て支援センター
持ち物：お子さんの写真1～2枚、はさみ、スティックのり(液体のり不可)、タオル
※汚れてもよい服装でお越しください
参加費：500円(材料費)
定 員：5組
申し込み：10月6日(水)までに厚南子育て支援センターへ

子育て講座 簡単！おいしい！おうちパン！

寝る前5分、朝の10分で食べられる
美味しい焼き立てのパンの作り方を教わります。
日 時：10月15日(金)10時～11時
内 容：パン作りの実演、パン生地作り
場 所：厚真子育て支援センター
持ち物：エプロン、保冷バッグ&保冷剤(生地の持ち帰り用)
参加費：500円(材料費)
定 員：5組
申し込み：10月8日(金)までに厚真子育て支援センターへ

子育て講座 おはなしのびっこ

日 時：10月28日(木) 10時30分～11時
場 所：厚真子育て支援センター
内 容：絵本の読み聞かせなど
定 員：5組
申し込み：10月21日(木)までに厚真子育て支援センターへ

Hello えいご・えいごであそぼう 10時30分～11時

ALTの先生と遊びを通じて英語に触れる事ができます。
開催日は情報誌をご覧ください。各センターに問い合わせてください。

- ・自由開放 月曜～金曜日 9時～12時、13時～15時
- ・子育て相談(※要事前連絡)
- ・サークル活動(※予約制) 月曜～金曜日 13時～15時

住宅用火災警報器を
設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は6月末時点で全世帯数の91.7%で、胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅へ普及・促進に取り組んでいます。

問い合わせ
胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119

設置による奏功事例

天井裏に設置された
24時間換気システムからの出火



居住者は、自宅2階の階段上の住宅用火災警報器の鳴動に気づき、2階の廊下天井付近に黒煙がうっすらと漂っているのを確認。下階に降りて火の気を探したが、火煙は見当たらなかった。しかし、よく見ると天井点検口の隙間が赤く光っていて、点検口を開けると同時に燃焼物が落下した。タオルを数枚水に浸し、燃焼物の上に被せて初期消火をした後、119番通報して屋外に避難した。
(令和2年8月 道内の事例)

こぶしの湯 あつま

イベントカレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
						3倍
3	4	5	6	7	8	9
⑤	②	⑧ 3倍	④	①		
10	11	12	13	14	15	16
⑤	②	⑧ 3倍	④	①		
17	18	19	20	21	22	23
⑤	②	⑧	④	①	2倍	
24	25	26	27	28	29	30
⑤	② 2倍	⑧ 3倍	④	休館日	①	
31						
⑤						

※イベントは予告なく、変更となる場合がございます。

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

巡回行政相談所を開設します

総務省では、行政相談制度について広く国民に理解していただくために、秋の行政相談週間(10月18日～24日)を設けています。

行政相談とは、皆さんから国の行政機関や特殊法人(JR、NTT、郵便局など)などに対する苦情や要望などを、行政相談委員が公平な第三者的立場で問題解決のお手伝いをし、行政の改善に役立てるものです。次の日程で巡回行政相談所を開設します。相談は無料で、秘密は守られます。悩みや苦情を抱えている方は、ご相談ください。

■日時・会場

10月19日(火)
▽総合福祉センター 10時～12時
▽厚南会館 13時30分～15時30分
■相談員
行政相談委員 當田昭則(本郷・27-2020)
■問い合わせ
総務課総務人事グループ ☎27-2322

公証人による無料相談

日本公証人連合会は、10月1日から7日までを「公証週間」と定め、遺言や養育費の支払いなど、公正証書の作成に関する無料の相談を受け

付けます。

○日本公証人連合会所属公証人の電話相談

■日時

10月1日(金)～7日(木)9時～12時、13時～16時30分(※土・日曜日を含む)

■問い合わせ

日本公証人連合会 ☎03-3502-1823

○苫小牧公証役場による夜間公証相談会(※前日までに電話予約が必要)

■日時

10月1日(金)・6日(水)17時～18時30分

■場所・問い合わせ

苫小牧公証役場 ☎0144-17769 苫小牧市表町2-1-23エイシンビル2階

健康診断を受診しましょう

日々の農作業が忙しくて、健康管理がおろそかになっていませんか？定期的に健康診断を受けることが、病気の早期発見につながります。積極的に、健康診断を受診しましょう。40歳から74歳の方は、市区町村などが実施しているメタボリックシンドロームに着目した特定健診の対象です。

■問い合わせ

農林水産省経営局就農・女性課

(☎03-3501-1962)

みどりの食料システム戦略

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナウイルスを契機とした生産・消費の変化等の課題に直面しており、地域の将来を見据えた持続可能な食料システムの構築が急務となっています。このため、農林水産省では、令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

詳しくは、ホームページで公開しています。「みどりの食料システム戦略」で検索するか、次のURLにアクセスしてください。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyoseisaku/nidori/index.html>



■問い合わせ

農林水産省北海道農政事務所企画調整室 ☎011-330-8801、農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課(03-3502-18056)

町税 今月の納期

科 目	納 期
国民健康保険料 第2期	9月30日(木)
後期高齢者保険料 第2期	

お支払いには、便利な口座振替をご利用ください。

問い合わせ 住民課 税務グループ ☎26-7871
住民課 町民生活グループ ☎26-7871

10月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。その他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

10時30分～11時	6日(水)、7日(木)、8日(金)、11日(月)、12日(火)、14日(木)、19日(火)、21日(木)、22日(金)、25日(月)、28日(木)、29日(金)
13時30分～14時	5日(火)、13日(水)、20日(水)

(一社)苫小牧地区交通安全協会 ☎0144-33-1458



ATSUMA LOVERS

秋晴れに包まれた昨年10月28日、応急仮設住宅から本郷きずな団地に引っ越しました。自警団連合会長や社会福祉協議会理事などの要職を務めた経験から住民の信頼も厚く、団地内でも「頼れるおじいちゃん」として入居者から慕われています。



本郷きずな団地で暮らす
Vol.17 やまぐち きよみつ
山口 清光さん(84歳)

災害公営住宅で人の輪を育てる

以前、脳梗塞を患いましたが、術後は順調に回復。玄関付近に置かれたパソコン3台を駆使して、日記をしたためています。外出先で撮影した写真に文章を添えたり、コンパクトカメラで撮影した動画なども取り込み、大容量媒体にデータを保存しています。「応急仮設住宅で開いてもらったパソコン教室に参加したら、すっかり

ハマっちゃってさ。操作を覚えたから、文字を書くのは楽だしね。今では、大体の操作はできるよ」と、笑顔が返ってきました。
住民同士のコミュニケーションも盛んです。花壇を作ったり、互いに手土産をおすそ分けし合ったり。「この間は、石川県から送られてきた梨を配ったら、『おいしいトマトできたよ』って届けてく

れたんだ。持ちつ持たれつで、皆仲良く暮らしている。日常生活の中で、互いを気遣っているから住みやすいよ」と笑顔が弾けました。
「震災はこたえたな。でも、嬉しいこともあったよ」。応急仮設住宅で迎えた最初の大晦日。当時は、余り知らない住民が多かったため、口火を切って、皆で年越しを迎えようと発案しました。「25人ぐらいが集まってくれた。涙が出るほど嬉しかったよ。時々、日記を読み返すこともあるよ」。

今春、愛車の自転車で富里の自宅跡からバケツに土を入れて持ち帰りました。土に交じっていたコスモスの種が発芽し、背丈ほどに成長してピンク色の花を着けました。コスモスは、地震で犠牲になった妻が好きな花でした。「見事だろう。俺の自慢だね」。
住民との穏やかな日常や自慢のコスモスの開花は、日記の中でも輝いていました。

あなたにとっての
愛すべき厚真を投稿してください



フェイスブック
@atsumatownhokkaido



Instagram
atsumalovers

ハッシュタグ#atsumaloversをつけてフェイスブックまたはInstagramに投稿してください。

ATSUMA LOVERS